祭礼空間の把握　～だんじり祭りを対象に～

中央復建コンサルタンツ株式会社　正 会 員　○渡辺秀斗
大阪工業大学工学部　正 会 員　吉川　眞
大阪工業大学工学部　正 会 員　田中一成

１．はじめに

祭礼はその土地の歴史や風習を形にしたものである．そのため，祭礼はそれぞれ固有の特徴をもっている．祭礼が行われる空間に着目すると多くの祭礼が神社仏閣の境内で行われているが，境内に加えて境外でも行われる祭礼が存在する．都市デザインの観点から祭礼を捉えるには，都市と祭礼のつながりがみられる境外での祭礼が重要となる．境外で行われる祭礼のなかでも，祭礼の際に曳いたり担いだりする出し物である山車を用いる祭礼は魅力的である．

一方，このような魅力的な祭礼があるなかで，後継者不足や認知不足などにより歴史ある祭礼が途絶えてしまう場合もある．そのため，祭礼に着目し，地域固有の特徴を把握することで，祭礼の継続や地域活性化などに貢献することが求められている．

２．研究の目的と方法

祭礼を都市デザインの観点から捉えると，祭礼が行われる空間や眺められる空間といった空間が多く存在していると言える．しかし，日常では目に見えて認識されることはないため，行政における景観計画などになかなか反映されていないという現状がある．歴史ある祭礼を現代で途切れさせないためにも，祭礼に関する要素に意味付けをすることで消失を防ぐことが求められる．そのためには，祭礼と都市の歴史的変遷を合わせて捉えていくことが重要である．本研究では，都市の歴史的変遷により空間が変容するなかで，歴史ある祭礼を継続していくために，祭礼に関する要素に新たな意味付けをし，継続する価値を見出すことを目的としている．

本研究の対象である祭礼を捉えていく前に，対象地である大阪府富田林市の歴史的変遷の把握を試みている．本研究では都市の歴史的変遷と祭礼を合わせて捉えることにしている．その祭礼として数ある種類のなかでもだんじり祭りに着目している．各氏子町によって異なる曳行ルートはそれぞれの地域性を見出す重要な要素である．そこで，各氏子町の曳行ルートを入手し，GIS上に定位することでルートどうしやルートと地形図の重なりを把握している．また，祭礼が眺められる空間にも着目していることから，GISの分析ツールである可視・不可視分析を行っている．さらに，祭礼に関する要素としてだんじり祭り関係の設えにも着目し，祭礼空間の把握を行っている．

３．祭礼

日本では数多くの祭礼が行われている．そのなかでも，大阪府を代表する祭礼は摂津を中心に行われているが，河内・和泉といった地域においても祭礼が盛んに行われている．とくにだんじり祭りは河内・和泉で盛んに行われており，また境外を巡行する形態の祭礼である．これより，都市デザインの観点から捉えるにあたり相応しいと考え，だんじり祭りを研究対象としている．だんじり祭りと言えば岸和田だんじり祭りをはじめとした和泉での祭りが有名であるが，河内においてもだんじり祭りが盛んに行われている．そこで本研究では，河内に位置する富田林市で行われるだんじり祭りに着目している．

キーワード　祭礼空間，歴史的変遷，空間情報技術
連絡先　〒533-0033　大阪市東淀川区東中島 4-11-10　ＴＥＬ06-6160-1121

４．祭礼空間の把握

本研究では，祭礼が行われる空間，祭礼に関するさまざまな要素が眺められる空間を祭礼空間と定義している．さまざまな観点から祭礼空間を捉えているが，本概要ではそのなかでも曳行ルートと地形図，可視・不可視分析を用いて把握した結果を述べる．また，富田林市内でだんじり祭りが行われる神社６社のなかでも宮入する町数が最も多い美具久留御魂神社の事例について述べる．

（１）曳行ルートの重ね合わせ

氏子町のなかには，だんじりをもたないニュータウン地域である梅の里を経由して曳行する町も存在する．ニュータウンのような宗教関連の祭礼が行われない地域の人々にとって，だんじりが曳行することは，地域ににぎわいをもたらすとともに，祭礼の認知向上につながっている．図１には各町の曳行ルートを重ね合わせた結果を示している．参道は各だんじりが宮入する際に通るので，参道以外の道路を対象に考察する．結果として，参道につながる旧外環状線が最も多く通られており，次いて近鉄長野線喜志駅ロータリーへつながる道路が多く通られていた．旧外環状線は参道につながる主要な道路であるためであり，また，喜志駅ロータリーへの道路は，ロータリーが曳行途中の休憩場所として多くの町に設定されていることが理由として挙げられる．

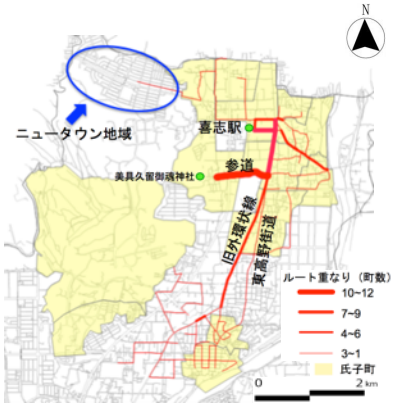

図１　曳行ルートの重ね合わせ

（２）地形図と曳行ルートの重ね合わせ

次に，明治後期の地形図に現在の曳行ルートを重ね合わせることで，だんじり祭りの過去とのつながりを把握し，歴史的に価値のある祭礼空間の把握を試みた．図２と図３より美具久留御魂神社のだんじり祭りでは過去から残る参道や集落内の道路が多く曳行されていることが把握できる．現代になると旧外環状線や外環状線が開通する．祭礼時においては旧外環状線も南北に延びる道路として曳行されている．さらに，現在は平町の西に梅の里と呼ばれる地域がある．ここはニュータウンとして開発された地域であるが，明治時代にはニュータウンがなく山岳地帯であったため，曳行ルートの過去とのつながりはみられない．

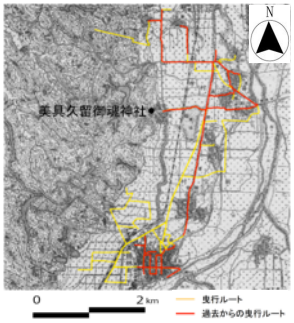

図２　地形図重ね合わせ

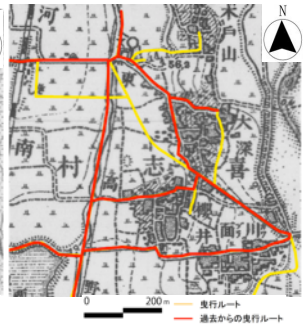

図３　集落内道路

（３）可視・不可視分析

祭礼に関するさまざまな要素が眺められる空間を可視・不可視分析により把握した．結果として，可視頻度値の最高点が，神社の参道の入り口にある御旅所前に位置していることが把握できた．この位置がだんじりをよく眺められるだけでなく御旅所前であることから，他の空間よりも，祭礼空間としてのポテンシャルが高い空間であると捉える．

図４　観測対象ポイント

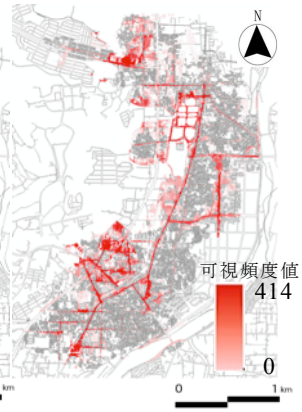

図５　分析結果

５．おわりに

本研究では，富田林市の歴史的変遷をたどるとともに， GIS データとして構築を図った．また，曳行ルートなどを用いたさまざまな考察を行うことで，だんじり祭りによる祭礼空間の広がりを把握した．今後は，祭礼空間を構成する要素は他にも考えられるので，他の要素を加えて祭礼空間を把握する必要がある．